

阪神間都市計画区域の整備、開発及び保全の方針等（兵庫県決定）の見直しについて

1 都市再開発方針等の尼崎市素案たたき台に関する市民意見の要旨と市の考え方

公表期間 平成 26 年 9 月 9 日～29 日

意見の提出 1 件

この意見による市素案の変更はありません。

意見の要旨	市の考え方
<p>塚口さんさんタウンは、尼崎市施行による塚口南地区第一種市街地再開発事業により整備されました。</p> <p>これにより、再開発区域の公共施設は一定の内容で整備されたものの、駐輪場対策や駅改札口前をせき止めるかの如くに存在する自動車道路など現在のニーズに合致しない、重大な課題を有しています。</p> <p>塚口さんさんタウン 3 番館において、建物の耐震性や空床の増加等多くの課題の解決を図るため、建替実施のための「建替推進決議」を目指して検討を進めています。</p> <p>しかし、単独建替のみでは、公共施設の課題は未解決となることから、地元としては、3 番館の建替に併せて、公共施設の課題解決も含めた再整備を進め、阪急塚口駅前を尼崎市の北の拠点としてふさわしい、次代の要請に適合した都市機能へと整備していく事が必要だと考えています。</p> <p>したがって、阪急塚口駅南側地区においては、現在、駅前に位置する再開発ビルの建替を通して、公共施設の再整備等を含めた地域の再生を目指していることから、現状を踏まえ二号地区に指定されたい。</p>	<p>阪急塚口駅周辺は、駅北側の駅前交通結節機能の向上、高度利用の促進のほか、駅周辺としての商業・業務機能の充実などの課題を抱えているため、今回の見直しにおいても引き続き都市再開発の方針の課題地域に位置づけており、魅力的で賑わいのある駅前商業地の形成などを目標とし、阪急塚口駅周辺における広域的な商業・業務機能の集積、老朽建物などの機能更新の促進などを図る地区としています。</p> <p>そのうち、塚口さんさんタウンを含む阪急塚口駅南地区は、既に市街地再開発事業により都市基盤が整備され高度利用が図られています。放置自転車の課題はありますが、新たに面的な再整備を促進すべき課題であるとは考えておりません。</p> <p>二号地区は、一体的かつ総合的に再開発を促進すべき地区を位置づけるものであり、同駅北地区と異なり、当該地区を二号地区に位置づける考えはありません。</p>

2 今後の予定

平成 26 年度	1～2月 県素案作成 市 都市計画審議会(報告) 3月 県 素案策定
平成 27 年度	4～5月 県 素案説明会・公聴会 11月 市 都市計画審議会(事前説明) 12月 公告縦覧 1月 市 都市計画審議会(諮問) 2月 県 都市計画審議会(付議) 3月 都市計画決定